

EX-7 シリーズ

HITACHI

Reliable solutions

EX1200



油圧ショベル

- 型式 : EX1200-7
- エンジン定格出力 : 567 kW (770 PS)
- 運転質量 : ローディングショベル : 117,000 kg
バックホウ : 115,000 kg
BE フロント : 117,000 kg
- バケット容量 : ローディングショベル 新JIS : 5.9–6.5 m³
バックホウ 新JIS : 5.2 m³
BE フロント 新JIS : 7.0 m³

大型油圧ショベルの集大成

掘削機の新たなスタンダード

EX1200-7は、日立グループの100年以上におよぶ知識・経験に基づき、安全性と生産性を究極まで追求しました。

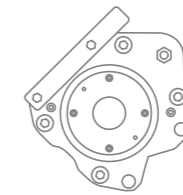
従来機に比べ耐久性・信頼性をさらに高め、鉱山・砕石現場や大型土木工事現場でその真価を発揮します。





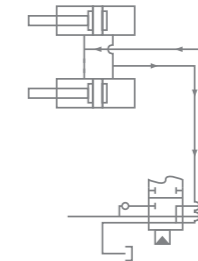
オートアイドル

すべての操作レバーが中立位置にある場合、自動的にエンジン回転数が低下し、燃費を低減します。中立位置から動かすと、即座にエンジンコントロールダイヤルに応じた指定回転数に戻ります。



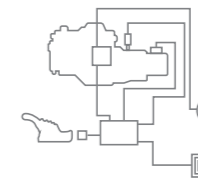
メインポンプ電子レギュレータ

各油圧ポンプは、それぞれ独自の電子式レギュレータを有し、エンジン出力を有効に油圧へ変換します。これにより効率的なパフォーマンスを得ることができます。



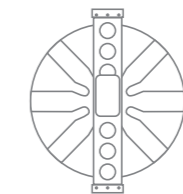
油圧再生回路

ブーム、アーム、バケットの油圧再生回路により、油圧効率を向上させ、低燃費を実現するとともに、作業スピードを向上します。



エンジン-ポンプ(E-P)制御

エンジンと油圧ポンプをコンピュータ制御することで、行っている作業に必要な負荷を感知し出力を制御します。これにより大作業量かつ低燃費を実現します。



作動油冷却システム

オイルクーラをラジエータと別置きにすることで、冷却効果を向上させました。作動油温が下がり、油圧機器類の耐久性がさらに高まりました。



ラジエータファン

ラジエータファンは、コンピュータ油圧制御により変速可能なファンを採用しました。油圧で駆動させると同時に、外気温度や稼働状況によってファンスピードを最適な状態に制御。エンジン馬力の有効な利用と低騒音化を実現しました。

機械性能を最大限に発揮

進化を遂げた最適化技術

油圧効率化技術、エンジン・ポンプ制御 (E・P制御)、最適化された冷却システム、3つの技術により、妥協することなく機能を向上しました。



エンジン

カミンズQSK23、6気筒、23 L、ターボ(インタークーラ)付き 567 kW(770 PS)

様々な現場に対応可能

多くの経験と技術力の実現

EX1200-7は最新の技術を取り入れ、過酷な作業に対応します。

操作性、耐久性を求めてデザインされ、あらゆる種類の作業に適用可能です。

フロントアタッチメント

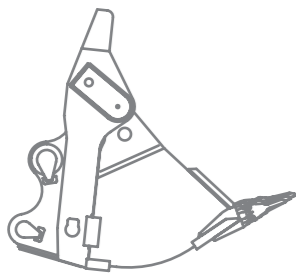
ブームとアームは、溶接ボックス構造となっており、高い耐久性を実現します。フロントアタッチメントは、現場に合わせて選択でき、作業効率を高めました。

バケットのデザイン

バケットは油圧ショベルの性能に合わせてデザインされ、高い耐久性と生産性を実現します。

バケットの操作性

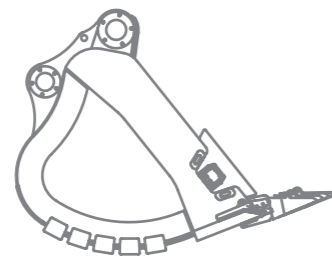
スムーズなバケットの操作により、効率的な放土作業が行えます。ダンブトラックへの衝撃を抑制し、ライフサイクルコストを低減します。



ローディングショベルの掘削力

アーム掘削力
585 kN (59,700 kgf)

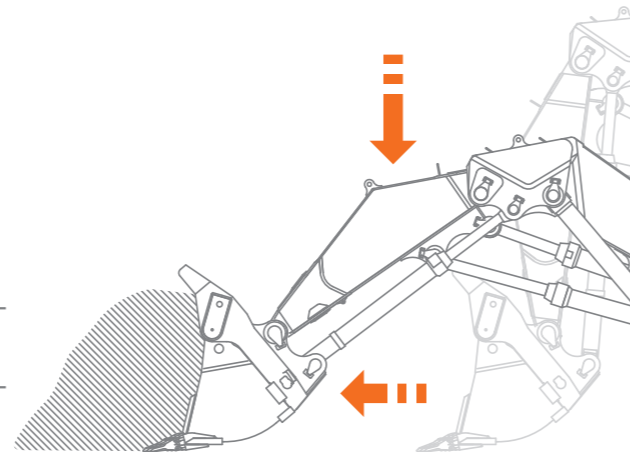
バケット掘削力
709 kN (72,300 kgf)



バックホーの掘削力

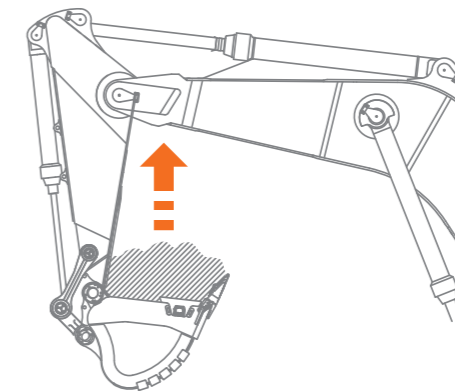
アーム掘削力
438 kN (44,660 kgf)

バケット掘削力
569 kN (58,020 kgf)



ローディングショベルの水平押し出し機構

水平押し出し機構には、独自のレベルシリンダ機構を採用しました。操作レバー1本を操作するだけで、アームおよびブームの複合動作を制御し、1回の操作でバケットを自動的に水平方向に押し出すことが可能です。フロントの重量によるエネルギーは、水平シリンダの推力として、アームの掘削力に活用されます。これにより、特にストロークエンドで高い掘削力を発揮し、作業性が高い掘削力を発揮し、作業性が向上します。



オートパワーリフト

ブーム上げ作業時に油圧システムへ過度な負荷がかかった場合、メインリリーフ圧力を自動的に最適化します。これにより、持ち上げに威力を発揮し、操作性と作業効率が向上します。

掘削作業

バケット掘削動作は、フロントの稼働範囲により広い作業エリアを実現しています。これにより機械の移動を抑えることができるため、作業効率が向上します。





マシンコントロールを直感的に

高度な操作性

直感的に操作が可能な機構によって、オペレータは瞬時に機械情報や周囲状況を把握できます。

また、作業環境に合わせた設定が可能で、作業効率を向上させることができます。

多機能マルチモニタ

大型カラー液晶を採用し、ダイヤルスイッチを操作することで、機械の状態、パフォーマンスインジケータ、オンボードのトラブル対応機能などを確認できます。ディスプレイにはLEDバックライトが装備され、画面反射を低減し視認性を確保しています。



多機能コントローラ

ダイヤル式の多機能コントローラは、簡単に直感的な操作を実現します。頻繁に使用されるスイッチは、右側のコンソールパネルにまとめられ、操作が容易になりました。



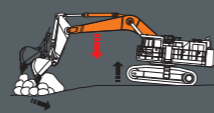
パワーディギングスイッチ

硬い岩盤などの掘削時には、パワーディギングスイッチを有効にすることで、一時的にポンプの圧力を上げ、フロントアタッチメントの油圧出力を最大化します。

ブームモードの選択

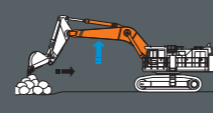
パワフルモードとコンフォートモード、2つの掘削モードをスイッチ1つで切り替えることができます。パワフルモードでは、ブーム下降時の力を増強することで掘削能力を向上します。コンフォートモードでは、ブーム下降時の力を制限し、車体の振動や衝撃を軽減、スムーズな操作を提供します。

パワフルモード



パワフルな掘削作業

コンフォートモード

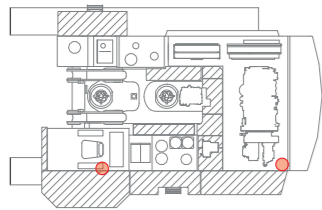


機体の浮き上がり振動、衝撃を低減

幾つもの現場で培った

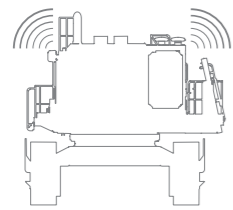
追求された安全性

長年の開発経験で培った技術は、安全性の向上にも活かされています。手すり、サイドウォーク、デュアルアイソレータスイッチなどを標準装備し、細部に渡ってより安全性を高めました。



エンジン停止スイッチ

キャブとエンジンルームの両方に設置され、非常時でも速やかな対応が可能です。



走行警報装置(オプション)

走行中はアラームが鳴り、機械が走行していることを周囲に知らせます。

旋回警報装置(オプション)

旋回中はアラームが鳴り、機械が旋回していることを周囲に知らせます。



後方監視カメラ

カウンタウエイトに後方監視カメラを搭載し、キャブ内のモニタから機械の後方を確認できます。操作ステータスアイコンと監視カメラ映像は同時に表示されるので、切り替え操作の必要がなく、常に状況が把握できます。



デュアルアイソレータスイッチ

エンジンとバッテリーを別々に遮断することが可能です。保守および点検時には、バッテリーアイソレータがバッテリーのプラスとマイナス端子を遮断し、安全な作業環境を確保します。エンジンアイソレータは、トラブル対応時、電気系統への通電が必要でも、エンジンスターターモーター回路を遮断することで安全性と保守性を両立させます。



機械各部への安全なアクセス

手すりおよび滑り止め加工を施したサイドウォークにより、機械周りを点検・整備する際の転倒の危険性を軽減します。

スライド式はしごを標準装備し、機械へのアクセスがより簡単になりました。



キャブ

前面は積層ガラス、側面は着色ガラスを採用し、オペレータを紫外線から守ります。
人間工学に基づいた防音性能が、快適性を向上します。
ISO規格のOPGレベルII(保護ガード)に適合し、落下物からオペレータを保護し、作業の安全性を確保します。

快適性を高めるインテリア

キャブ内には、温冷ボックス、複数のドリンクホルダ、12V電源、ステレオスピーカー、外部オーディオ入力、オーディオデバイス収納ボックス、シート後部の大きな収納スペース、ドア作動式のドームライトなどを装備しています。

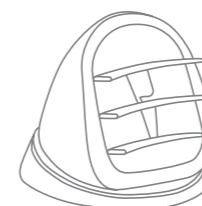


ストレスフリーを叶えた

快適性

オペレータの手元にまとめられた制御装置、強化された空調システム、多機能マルチモニタに集約された情報により、操作や作業のストレスを軽減し、運転空間の快適性を求めました。

空調装置



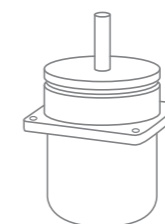
ほこりの侵入を防ぐ加圧式キャブと、適切な空調機能によりキャブ内環境を向上します。
新設計のフレキシブルベントシステムと、改善された換気設計により快適性を向上しました。

運転席



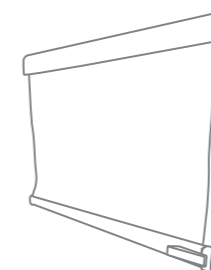
鉱山作業向けに特別に設計された重量調整クッション付きシートを搭載しました。シートの硬さを各自で調整可能です。
オプションのエアサスペンションシートは、スイッチを押すことで起動し、オペレータの体重に応じた最適なクッション性を自動的に調整します。
操作中の快適性がさらに向上し、振動の影響を最小限に抑えます。

液体封入防振マウント



キャブは、6基の液体封入防振マウントで支えられています。
これにより、衝撃や振動、騒音が大幅に低減し、乗り心地やキャブの耐久性を向上させます。
これらのマウントは、キャブを外すことなく交換が可能です。

ロールスクリーン(オプション)



フロントおよびサイドに設置されたロールスクリーンは、キャブ内を遮光し、空調の効率を向上させます。

写真はオプションのエアサスペンションシートを含みます。

日々のメンテナンスを容易に

機能的なデザイン

広々とした通路と作業用スペースからなるモジュール設計は、主要コンポーネントの保守点検を容易に行えます。



各種警報機能および保守点検

機械の電源を入れるたびに、モニタに定期点検の情報が表示されます。オペレータは、必要に応じて表示された情報の内容を確認できます。迅速な不具合対応を行うため、認定されたサービスマンがエラーコードをメイン画面に表示することができます。



メンテナンスの簡便化

幅広い通路とゆとりある作業エリアを確保することにより、日常のメンテナンス作業やエンジン、油圧および電気コンポーネントの点検が容易にできます。



メンテナンス箇所へのアクセス

頻繁にメンテナンスを行う各種フィルタを一カ所に集約したことにより、作業が容易になりました。



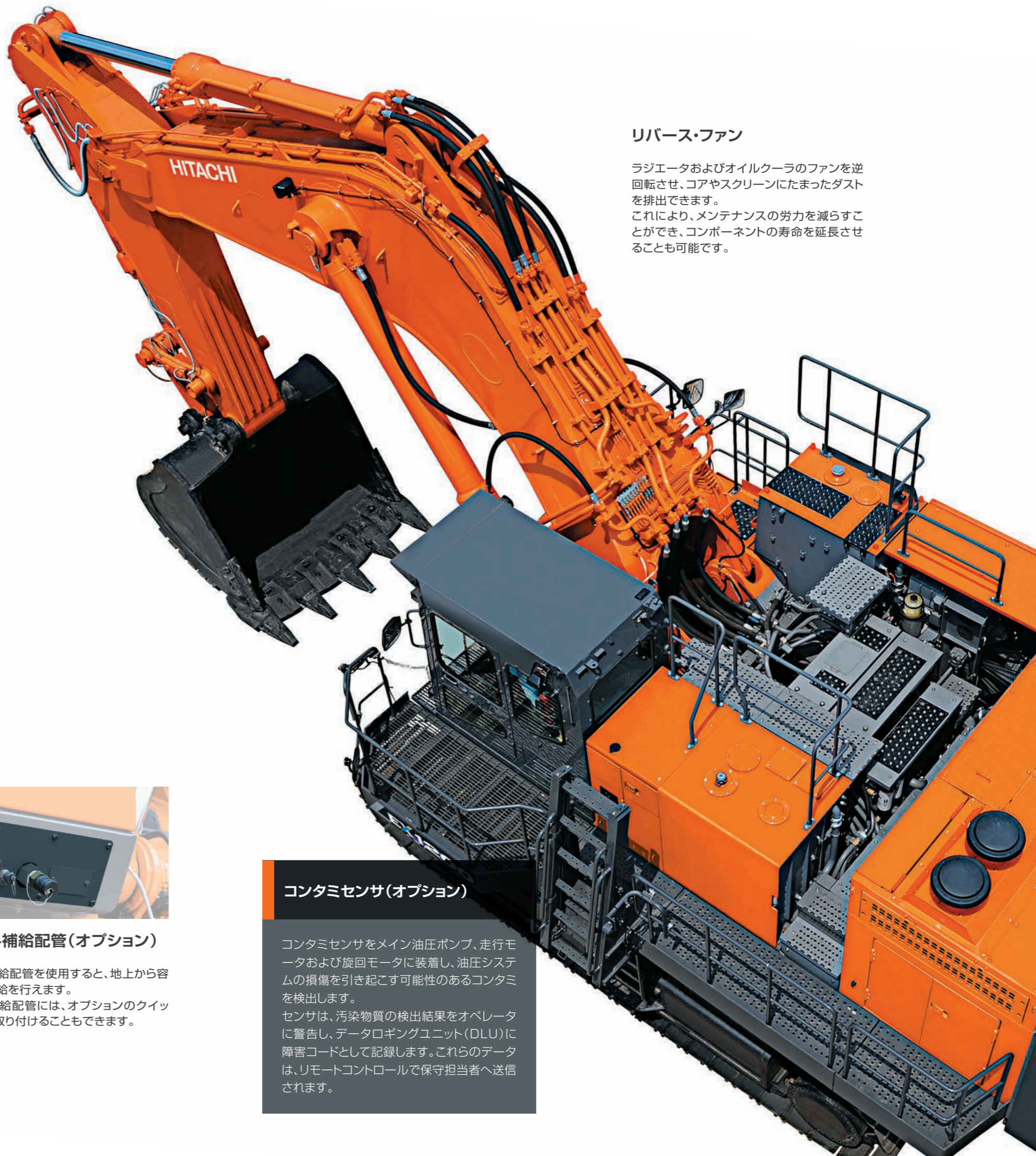
自動給脂システム(オプション)

バケットピンを含む全ての給脂ポイントに自動的にグリスを供給するシステム(オプション)を用意しています。95Lの大容量グリスタンク、大容量グリスポンプ、インライングリスフィルタ、フィルタ付きブリーザで構成され、稼働率の向上に寄与します。



高速燃料補給配管(オプション)

高速燃料補給配管を使用すると、地上から容易に燃料補給を行えます。高速燃料補給配管には、オプションのクイックカブラを取り付けることもできます。

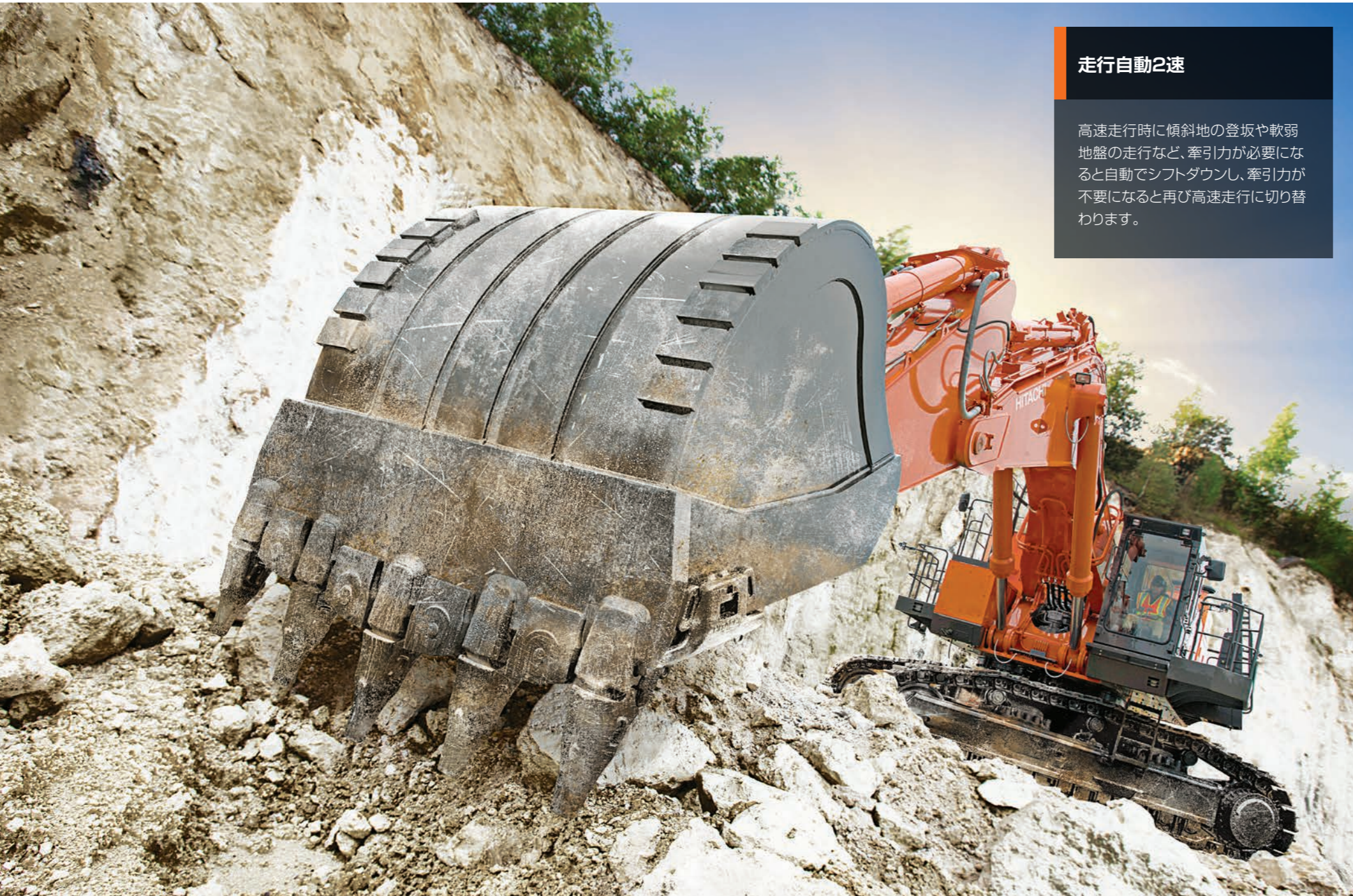


リバース・ファン

ラジエータおよびオイルクーラのファンを逆回転させ、コアやスクリーンにたまったダストを排出できます。これにより、メンテナンスの労力を減らすことができ、コンポーネントの寿命を延長させることも可能です。

コンタミセンサ(オプション)

コンタミセンサをメイン油圧ポンプ、走行モータおよび旋回モータに装着し、油圧システムの損傷を引き起こす可能性のあるコンタミを検出します。センサは、汚染物質の検出結果をオペレータに警告し、データロギングユニット(DLU)に障害コードとして記録します。これらのデータは、リモートコントロールで保守担当者へ送信されます。



走行自動2速

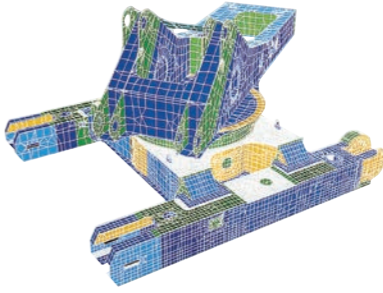
高速走行時に傾斜地の登坂や軟弱地盤の走行など、牽引力が必要になると自動でシフトダウンし、牽引力が不要になると再び高速走行に切り替わります。



ハードな現場にも対応

高い耐久性

耐久性を高める様々なデザインはEX1200-7の強みの一つです。コンピューターモデリングを駆使したフレーム構造、鍛造技術を適用した足回り部品、耐久性を向上した油圧機器など、多くの稼働現場でそれを体現できます。



高剛性のボックス構造

あらゆる作業に対応できるよう、コンピューター解析を活用した設計手法でフレームの長寿命化を図りました。



トラック・シュー

トラックリンクの改良により、マスターピンの早期故障が減少し、耐久性が向上しました。



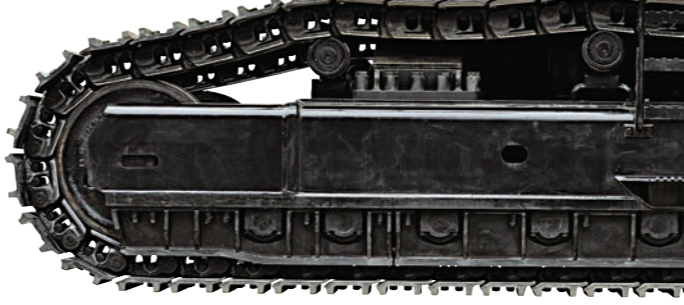
トラックセンタフレーム

形状、強度に優れた鍛造素材を使用し、耐久性の向上を図りました。



トラックセンタカバー(オプション)

異物がトラックフレームに入り込むのを防ぎ、軟弱地盤での作業中でも主要構成部品を保護します。



アイドラ・ローラ

アイドラ・ローラの潤滑油は、フローティングシールで保たれており、給脂の必要がなくなり、メンテナンスコストを削減します。



フルトラックガード(オプション)

岩石などとの衝突による下部ローラの破損を低減し、下部走行体のオーバーロードを防ぐとともに摩耗を最小限に抑えます。

ワーキングライト

作業現場を的確に照射するよう配置された長寿命のLEDワーキングライトは、夜間の作業に高い信頼性をもたらします。

長年の稼働経験で培った

さらなる信頼性の探求

EX1200-7は長年現場で培った技術をベースに進化し、様々な現場において確実な作業ができる信頼性を有しています。



無給脂型センタージョイント

センタージョイントは、機械の作動油を使用して自己潤滑し、日々のメンテナンス作業を軽減します。



フロントアタッチメントの配管

ブームと主要配管間のホースをアーチ状から吊り下げ式に変更したことで、クランプを使う必要がなくなりました。その結果、ホースのたわみが減少し、平均修理時間、平均故障間隔ともに短縮されました。



バケットリンク

フローティングピン設計が採用されています。ブーム上部とリンクのフローティングピンが摩耗を減らし、砂ほこりなどが侵入するのを防ぎます。アームとバケットがスラストプレートにボルトで固定されているためパーツ交換も容易です。

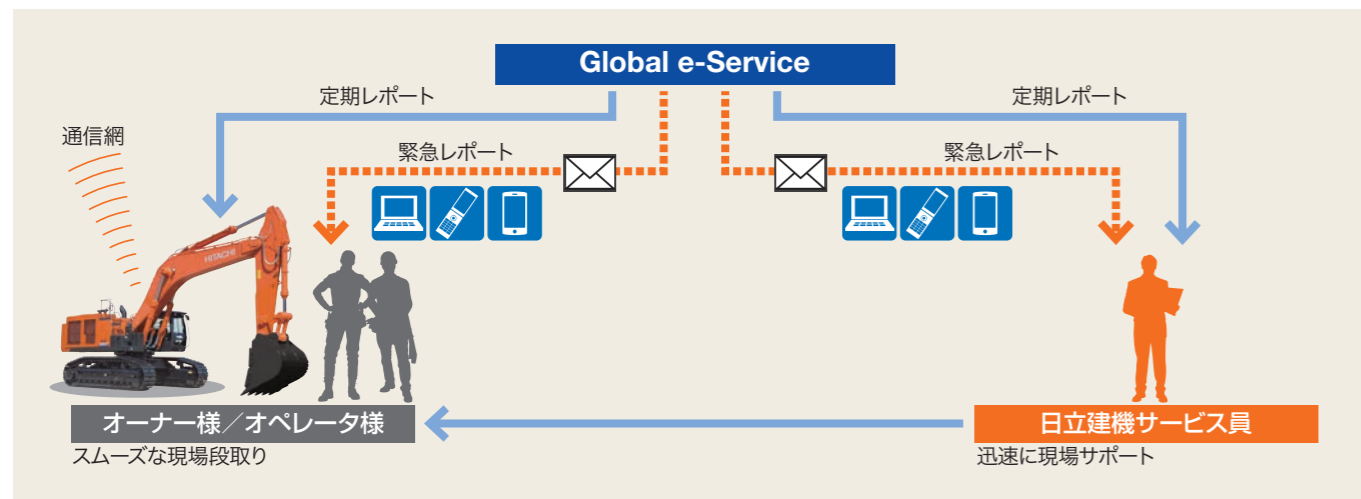


上部ローラ

上部ローラは左右サイドフレームの各3箇所に配置しています。それらによりトラックリンクとサイドフレームのクリアランスを大きく確保し、トラックフレームへ堆積する土砂によるトラックリンクの摩耗を低減し、その結果、耐久性を向上しました。

何処でも見守る 日立建機のサポートプログラム

データレポート



■定期レポート

一台ごとの機械稼働状況を定期的にレポートします。

- **配信タイミング**……毎月月初(前月情報)
- **レポート内容**……機械稼働状況、ECO運転、部位別稼働時間、推定稼働時間、ラジエータ水温の説明など

■緊急レポート

機械に装着されたセンサから緊急性のあるアラームが発報された際に、アラーム内容をタイムリーにメールでレポートします。パソコン、携帯電話、スマートフォンで受信できます(通信形態はeメール)。

- **配信タイミング**……都度(アラーム発生時)
- **レポート内容**……マシンダウンにつながるアラーム(エンジン出力ダウン)など

■ConSite Pocket

ConSite PocketはConSiteデータレポートで配信される、稼働情報をまとめた定期レポートや不具合発生時の緊急レポート、機械の稼働位置を確認できるスマートフォンのアプリです。今までEメールで届いていたレポート情報がいつでもどこでもスマートフォンのアプリで確認できます。緊急レポート発生時にはプッシュ通知で即座にお知らせし、お客様のConSite契約機の稼働をサポートします。

ご利用には、Global e-ServiceのIDとConSite Pocketアプリが必要です。

ConSite Pocket アプリのダウンロード



Androidデバイス用はGoogle Playからダウンロードできます。



iPhoneデバイス用はApp Storeからダウンロードできます。



■定期レポート項目 (閲覧項目例)

- 稼働状況
- 燃料消費量(日、月)
- 部位別の操作時間
- 稼働時間(日、月)
- 冷却水/作動油の温度
- 各種診断コメント

SPECIFICATIONS

■仕様

エンジン	
名称	カミンズ QSK23-C
定格出力 @1,800 min ⁻¹ (rpm)	567 kW (770 PS)
総行程容積	23.15 L

油圧システム	
メインポンプ	斜板式可変容量型プランジャポンプ x 3
主リリーフ弁セット圧	31.9 MPa (325 kgf/cm ²)
パイロットポンプ	ギヤポンプ
ファンポンプ	斜板式可変容量型プランジャポンプ

上部旋回体	
旋回速度	5.2 min ⁻¹ (rpm)
燃料タンク容量	1,700 L

下部走行体	
走行速度	高速: 0 to 3.5 km/h 低速: 0 to 2.4 km/h

質量および接地圧

ローディングショベル 6.5 m ³ ボトムダンプ式バケット			
シュータイプ	シュー幅	運転質量	接地圧
ダブル・グローサ	700 mm	117,000 kg	148 kPa (1.51 kgf/cm ²)

バックホウ EX1200-7: 9.0 m ブーム、3.6 m アーム、5.2 m ³ (新JIS)バケット			
シュータイプ	シュー幅	運転質量	接地圧
ダブル・グローサ	700 mm	115,000 kg	145 kPa (1.48 kgf/cm ²)
	900 mm	116,000 kg	114 kPa (1.17 kgf/cm ²)

EX1200-7 BE-フロント: 7.55 m BEブーム、3.4 m BEアーム、7.0 m³ (新JIS) バケット

シュータイプ	シュー幅	運転質量	接地圧
ダブル・グローサ	700 mm	117,000 kg	148 kPa (1.51 kgf/cm ²)
	900 mm	118,000 kg	116 kPa (1.19 kgf/cm ²)

ローディングショベル

バケット						
容量	山積	幅	爪個数	質量	形式	土砂比重
5.9 m ³		2,510 mm	6	10,000 kg	●	1,800 kg/m ³ 以下
6.5 m ³		2,700 mm	6	9,390 kg	◎	1,800 kg/m ³ 以下

◎ ボトムダンプタイプ一般掘削用バケット ● ボトムダンプタイプ岩用バケット

バックホウ

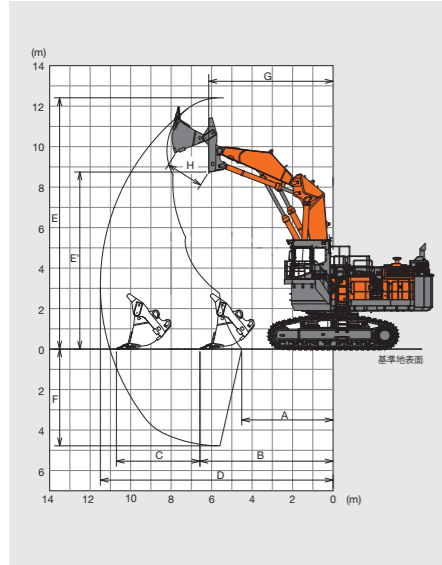
バケット							
容量	山積新JIS	幅		爪個数	質量	形式	土砂比重
5.2 m ³		サイドカッタ無し	サイドカッタ含む	5	5,450 kg	◎	1,800 kg/m ³ 以下
		2,140 mm	2,140 mm				
7.0 m ³ *		2,640 mm	2,640 mm	5	7,860 kg	◎	1,800 kg/m ³ 以下

◎ 一般掘削用バケット * BEフロントアタッチメント

SPECIFICATIONS

■ 作業範囲図

ローディングショベル

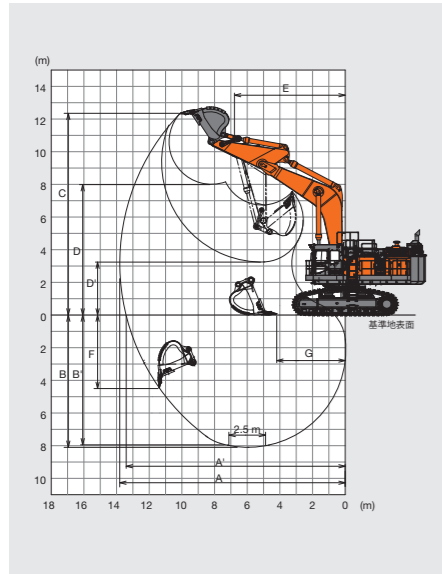


(単位: mm)

標準バケット容量	6.5 m ³
A 床面最小掘削半径	4,510
B 床面仕上げ最小掘削半径	6,580
C 床面水平作業距離	4,370
D 最大掘削半径	11,500
*E 最大掘削高さ	12,410
*E' 最大ダンプ高さ	8,750
*F 最大掘削深さ	4,780
G 最大ダンプ高さ時半径	6,140
H 最大バケット開口幅	1,880
アーム掘削力	585 kN (59,700 kgf)
バケット掘削力	709 kN (72,300 kgf)

〈注〉*印はシューラグ高さを含みません。

バックホウ

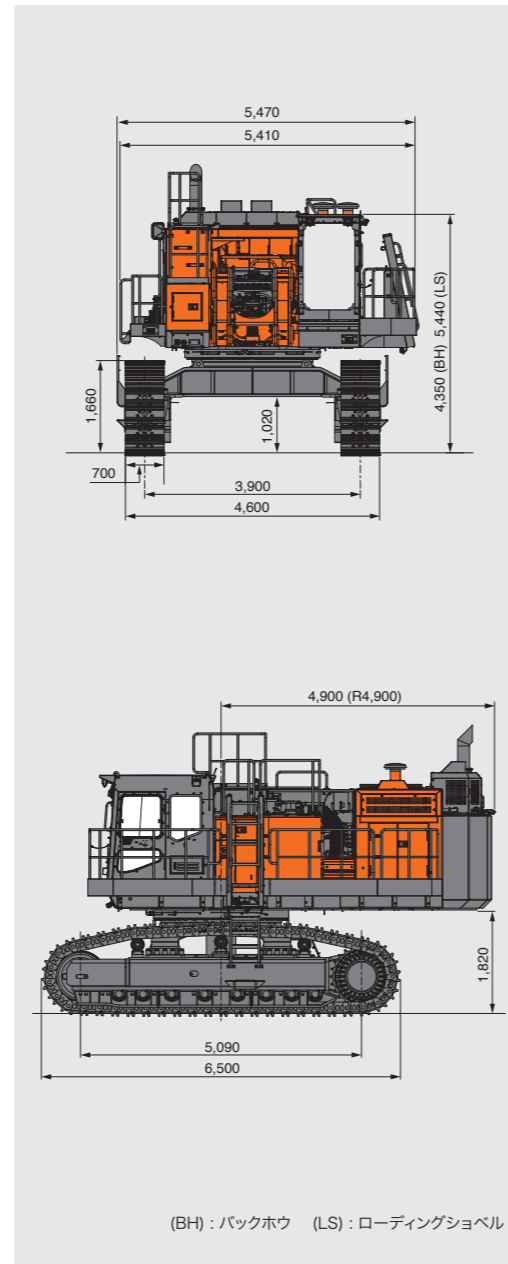


(単位: mm)

ブーム長さ	7.55 m BE-ブーム	9.0 m 標準ブーム
アーム長さ	3.4 m BE-アーム	3.6 m 標準アーム
A 最大掘削半径	13,790	15,350
A' 最大掘削半径 (地表面)	13,410	15,010
*B 最大掘削深さ	8,100	9,380
*B' 最大掘削深さ (2.5 mレベル)	7,960	9,260
*C 最大掘削高さ	12,340	13,460
*D 最小ダンプ高さ	8,010	9,080
*D' 最小ダンプ高さ	3,220	4,160
E フロント最小 旋回半径	6,770	7,740
*F 最大垂直掘削高さ	4,440	6,450
G 最小水平引き距離	4,210	5,790
バケット掘削力 (新JIS)	569 kN 58,000 kgf	482 kN 49,200 kgf
アーム掘削力 (新JIS)	438 kN 44,700 kgf	430 kN 43,900 kgf

〈注〉*印はシューラグ高さを含みません。

■ 寸法図



EQUIPMENT

■ 装備品

標準装備品

エンジン

- ・オルタネーターベルト自動テンショナー
- ・オートアイドルシステム
- ・オートシャットダウン制御
- ・カートリッジタイプエンジンオイルフィルタ
- ・カートリッジタイプ冷却水フィルタ
- ・ダストエジェクタ (エアクリーナ)
- ・エレメントタイプ燃料フィルタ
- ・ファンガード
- ・エンジン防振支持
- ・オーバーヒート防止制御
- ・パワーモードスイッチ制御 (ECO/PWR/HP)
- ・防塵ネット付きラジエータ、エアクーラおよびオイルクーラ
- ・140 Aオルタネータ

油圧システム

- ・オートパワーリフト制御 (BH)
- ・ブームモード選択システム
- ・メインリリーフバルブ付きコントロールバルブ
- ・エンジン回転数検知システム
- ・E-P制御システム
- ・フルフローフィルタ
- ・HIOS IIIB 油圧システム (ヒューマン&インテリジェントオペレーションシステム)
- ・ラインフィルタ (デリベリフィルタ)
- ・オーバーヒート防止制御
- ・パイロット・フィルタ
- ・ポンプドレンフィルタ
- ・リバースファンシステム
- ・サクシオンフィルタ
- ・トランスミッションオイル冷却システム
- ・パワーディギング

キャブ

- ・リクライニングシート
- ・灰皿
- ・デフロスタ付き自動制御エア・コンディショナ
- ・オートアイドルスイッチ
- ・自動選局AM-FMラジオ
- ・シガーライター
- ・デジタル時計
- ・ドア連動ドームライト
- ・ホット&クール機能付きドリンクホルダ
- ・電気ホーン
- ・エンジンコントロールダイヤル
- ・脱出用ハンマ
- ・外部入力ポート (補助端子)
- ・フロアマット
- ・フットレスト
- ・ホット/クールボックス
- ・ワイパー (可変式間欠、ウォッシュ付き)
- ・合わせガラス窓
- ・OPGトップガード: レベル II (ISO10262)
- ・ロックレバー
- ・シートベルト
- ・サイドスピーカ
- ・12 V電源
- ・USB電源
- ・ロールスクリーン

モニタリング・システム

- ・計器類
- ・オートアイドル
- ・エンジン冷却水温計
- ・燃料計
- ・アワー・メータ
- ・警告ランプ

データ記録システム

- ・DLU (データ記録ユニット)

オプション

- ・ブーム右側LEDライト x 1
- ・追加キャブ前面LEDライト x 2
- ・キャブ後部ハロゲンライト x 1
- ・エアサスペンションシート (ヒータ付き)
- ・バケット自動給脂システム (BEフロント)
- ・キャブ前面ガード
- ・トラックセンタカバー
- ・寒冷地用パッケージ
- ・通信システム
- ・GPRS 通信システム
- ・衛星データ送信システム

- ・コンタミセンサ
- ・電動式燃料補給ポンプ装置
- ・高速燃料補給配管
- ・ウイギンスカブラ
- ・フルトラックガード
- ・オイルクーラ、ラジエータ、カウンタウエイト、エアクリーナの上のハンドレール
- ・ハイキャブキット (バックホウ用)
- ・大型エアクリーナ
- ・LCサイドフレーム
- ・耐海水仕様

ライト

- ・ブーム LEDライト x 1
- ・ステップLED ライト x 1
- ・キャブ前面LEDライト x 2
- ・カウンタウエイトLED ライト x 2
- ・ワーキングライトLEDライト x 2

上部旋回体

- ・スイングベアリング用集中給脂システム
- ・ホースリール付き電動グリースガン
- ・Aerial Angle®
- ・後方監視カメラ
- ・ブーム/アーム/バケット再生システム
- ・アンダカバー
- ・18,000 kg カウンタウエイト

下部走行体

- ・衝撃吸収リコイルスプリング付き油圧 (グリース) 式トラックアジャスタ
- ・スプリングセット/油圧解放ディスク型パーキングブレーキ
- ・トラックおよびアイドラガード
- ・走行モータカバー
- ・700 mm シュー

その他

- ・フロント用自動給脂システム
- ・BHおよびBEフロント: アーム先端ピン含まず
- ・LDフロント: アーム先端ピン含む
- ・デュアルアイソレータ・スイッチ
- ・ハイキャブ (ローディングショベル用)
- ・ISO準拠の階段と手すり
- ・スライドラダー
- ・滑り止めプレート
- ・広幅サイドウォーク

ダンプトラックへの積み込み回数

最適積み込み回数: 4~6回

許容積み込み回数: 3~8回

形式		60t 級ダンプトラック	100t 級ダンプトラック	EH3500AC-3	EH4000AC-3	EH5000AC-3
EX1200-7	BH (7.0 m ³)	5				
	LD (6.5 m ³)	6				
EX1900-6	BH (12 m ³)	3	5			
	LD (11 m ³)	4	6			
EX2600-7	BH (17 m ³)		3	6	8	
	LD (15 m ³)		4	8		
EX3600-7	BH (22 m ³)		3	5	6	8
	LD (22 m ³)		3	5	7	
EX5600-7	BH (34 m ³)			3	4	5
	LD (29 m ³)			4	5	7
EX8000-6	BH (43 m ³)				3	4
	LD (40 m ³)			3	4	5

- カタログに記載した内容は、予告なく変更することがあります。機械の色および内装色は撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。
- 掲載写真は、販売仕様と一部異なる場合があります。また、オプション品を含んでいる場合もあります。
- 掲載写真には、カタログ撮影用の姿勢のものが含まれています。機械を離れるときには、必ず作業装置を接地させてください。
- 機体質量3トン以上のバケットを装着した建設機械の運転には「車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用・掘削用）運転技能講習修了証」の取得、機体質量3トン未満には「車両系建設機械（整地・運搬・積み込み用・掘削用）運転特別教育」の受講が必要です。
- 機体質量3トン以上のブレイカ、鉄骨切断機（鉄骨切断機、コンクリート圧砕機、解体用つかみ機）の運転には、「車両系建設機械（解体用）運転技能講習修了証」の取得、機体質量3トン未満には「車両系建設機械（解体用）運転特別教育」の受講が必要です。（平成25年7月1日、労働安全衛生規則改正による）

日立建機株式会社

東京都台東区東上野 2-16-1 〒110-0015
 営業本部 ☎ (03) 5826-8150
www.hitachicm.com/global/jp

日立建機日本株式会社

埼玉県草加市弁天 5-33-25 〒340-0004
 販売本部 ☎ (048) 935-2111
japan.hitachi-kenki.co.jp



お近くの販売店および教習所を
 検索できます。



正しい操作と、周囲への思いやりは、安全作業の第一歩です。
 ご使用前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、正しくお使いください。

お問い合わせは、お近くの日立建機販売店へ